

募集最盛期を迎えて

小田原駅西口駅前
広報実施状況

松田町における懸垂幕

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林一陸尉）は、7月18日（金）、小田原駅西口において、市街地広報を実施した。この市街地広報は、募集最盛期における広報活動の一環で今年で5年目になるが、所員一同、通学途中の高校生に小田原地域事務所の所在地や自衛官募集のQRコードを記したポケットティッシュを配付した。

また、7月1日（火）から9月18日（木）までの間で、2市8町の庁舎に自衛官募集の懸垂幕を2週間展張してもらおう等、自治体の協力も得ながら自衛官募集を併せてPRしている。

小田原地域事務所は、「募集最盛期を迎え、地域と連携して志願者を確保していく」としている。

自然の中で父兄会等と親睦



焼系の広報官

相模川のほとりで
自然を満喫

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、7月19日（土）、相模川のほとりにある上大島キャンプ場で父兄会主催の親睦会（バーベキュー）に参加した。この親睦会は、自衛隊父兄会相模原座間地域会会長の呼びかけで、父兄会、協力者及び広報官等の親睦を図ることを目的に、毎年実施されている。

当日は、あいにくの曇り空ではあったが、自然と楽しい会話というスパイスにより終始笑いが絶えない和やかな懇親を図る場となった。最後に会長から、「日頃の広報官のみなさんの協力に感謝しています」という言葉で懇親の会は終了した。

相模原地域事務所は、「今後も父兄会、協力者との連携を図り、募集広報に邁進していく」としている。

海自哨戒機で体験搭乗 タッチアンドゴーに大興奮

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、7月19日（土）、海上自衛隊厚木航空基地における対潜哨戒機（P-3C）の体験搭乗を支援した。

初めは緊張した面持ちの学生達ではあったが、約1時間の伊豆半島方面の空中散歩を終えると、「あっというまの時間、気持ちよかった」と興奮した様子。特に、着陸して再び離陸する「タッチアンドゴー」のサプライズに大満足のようであった。また、資料館見学、ターミナル屋上デッキからの説明なども行われ、有意義な一日となった。

相模原地域事務所は、「今後も各種イベント等に積極的に参加し、自衛隊の魅力を誠心誠意伝えていく」としている。



フライトを終え大満足の学生たち